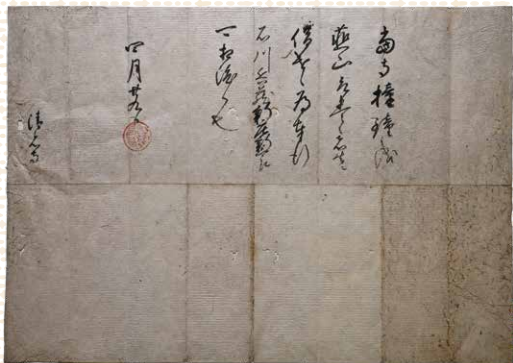


第4章 小田原合戦 ～駿河を通る秀吉～

家康は北条氏との仲介を担っていましたが、天正17(1589)年に、秀吉が小田原攻めに乗り出したため、秀吉に従い戦いに参加しました。秀吉は進軍にあたり、寺社の安全を保障し、興津の清見寺に立ち寄っています。



豊臣秀吉朱印状 (清見寺所蔵 静岡市指定文化財)

第5章 中村一氏の 駿河支配



横田村詮法度 (当館所蔵)

天正18(1590)年、小田原合戦後に家康の領地が関東に移されると、駿河には秀吉の家臣である中村一氏が配置されました。一氏は家老の横田村詮らを通じて太閤検地や法度の制定を行い、駿河に豊臣政権の統治が定着していきました。

第6章 豊臣大名・家康と 関ヶ原合戦

豊臣政権下で家康は有力な大名として政治運営に関与し、秀吉の信任のもと紛争調停や朝鮮出兵、伏見城築城など重要な役割を果たしました。秀吉の死後は五大老筆頭として権力を強め、石田三成らとの対立の中で慶長5(1600)年、関ヶ原合戦を戦いました。



背負陣太鼓 (大阪城天守閣所蔵)

第7章 天下人家康へ

関ヶ原合戦に勝利した家康は実質的な政治の実権を握りました。関東・東海を基盤に支配を強め、豊臣政権と並立する体制が形成されました。その後の慶長8(1603)年、家康は征夷大將軍に任じられ、徳川政権が成立しました。



勝瓢 (静岡浅間神社所蔵)

学芸員ギャラリートーク (予約不要・要企画展観覧券)

学芸員が企画展の見どころを紹介します。
開館延長日のため、ゆっくり展示をご覧ください。
(19:00閉館、展示室入場は閉館30分前まで)

日時/ 10月24日(土) 16:30～(15分程度)
11月28日(土) 16:30～(15分程度)
会場/ 3階



10月10日(土)・11日(日)
企画展をご覧いただいた
各日先着100名様に
**博物館オリジナル
ノベルティ
プレゼント!**
3階展示室入口にて
配布します

体験 ワークショップ
参加無料
戦国武将のミニかぶと
日時/ 10月10日(土)・17日(土) 13:30～15:00受付
対象/ どなたでも(申込不要)

- #### 交通アクセス
- JRをご利用の場合**
「静岡駅」下車、北口から
●徒歩15分、タクシーで約10分
●しずてつジャストラインバス「県庁・静岡市役所葵区役所前」下車 徒歩6分
 - 静岡鉄道をご利用の場合**
●「新静岡駅」から徒歩8分
 - 富士山静岡空港をご利用の場合**
●空港からしずてつジャストラインバス
富士山静岡空港静岡線「新静岡」下車 徒歩8分
 - お車でお越しの場合**
●東名静岡ICから約20分
※隣接及び近隣の有料駐車場をご利用ください。詳細はホームページをご確認ください。

ミュージアムショップ・カフェ
(1階 無料エリア)
ミュージアムショップでは、企画展図録やオリジナルグッズ、地元企業とコラボした商品等を販売しています。併設のカフェでは、コーヒーや抹茶シェイクのほか、軽食もお楽しみいただけます。

観覧料		個人	団体
企画展 + 基本展示	一般	1,200円	960円
	高校生・大学生・静岡市居住70歳以上	840円	660円
	小中学生	300円	240円
企画展のみ	一般	600円	480円
	高校生・大学生・静岡市居住70歳以上	420円	330円
	小中学生	150円	120円
静岡市内居住・通学の小学生、中学生、未就学児		無料	

※「一般」以外の方は身分証明書等をお持ちください。※障害者手帳をお持ちの方、指定難病・小児慢性の方とその介助者1人無料。(要提示)※団体料金は20人以上の団体に適用されます。

静岡市歴史博物館
Shizuoka City Museum of History

静岡県静岡市葵区追手町4番16号 TEL:054-204-1005
ホームページ: <https://scmh.jp> FAX:054-204-7373
指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

豊臣政権



秀吉を支えた重臣、家康

企画展

徳川家康と

2026年 **10月10日(土)～11月29日(日)**
静岡市歴史博物館 3階展示室
開館時間/ 9時～18時 (展示室入場は閉館30分前まで)
※10月24日(土)及び11月28日(土)は19時まで開館
休 館 日/ 月曜日 (国民の祝日・休日の場合は開館、翌平日休館)

静岡市歴史博物館
Shizuoka City Museum of History

徳川家康は、豊臣秀吉と天下を争った武将として知られる一方で、秀吉が信頼を寄せた義兄弟であり、豊臣政権を支え続けた重鎮でもありました。本展では、静岡市内に遺された資料を中心に、家康と豊臣政権とのかかわりをひもときます。

第1章 駿河平定から 五か国大名へ

天正10(1582)年、家康は、織田信長とともに、甲斐の武田氏を滅ぼして駿河国を平定しました。同年、本能寺の変が起こると、堺にいた家康は「伊賀越え」で領国に戻り危機から逃れました。その後、関東の北条氏との戦いを経て、駿河・遠江・三河・甲斐・信濃の五か国を治める大大名となりました。



徳川家康禁制 (清見寺所蔵 静岡市指定文化財)

第2章 家康・秀吉の戦いと旭姫

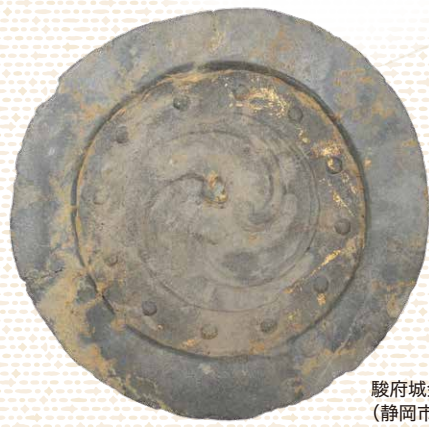
天正12(1584)年、家康は信長の子織田信雄と結んで秀吉に対抗し、小牧・長久手の戦いで秀吉軍の別動隊を破りました。しかし信雄が秀吉と和睦したことで、不利となった家康も秀吉に臣従し、秀吉の妹である旭姫が家康に嫁ぎました。



尾州小牧長久手御合戦地図 (大阪城天守閣所蔵)

第3章 駿府築城と 五か国支配

天正14(1586)年、秀吉に従った家康は浜松から駿府へ本拠を移し、五か国を統治する大名として、領国の整備を進めました。金箔瓦を用いた駿府城を築くとともに、領内の検地や寺社の保護を行いました。



駿府城金箔瓦 (静岡市所蔵)

重要文化財を
展示!

「太刀 銘長船住人長光」(静岡浅間神社所蔵)
秀吉が家康に贈り、後に静岡浅間神社に奉納されたと伝わる太刀。鎌倉時代の刀工・備前長船派の長光の作。

「家忠日記」(駒澤大学図書館所蔵)
家康家臣の松平家忠が遺した日記。家康の動きや秀吉との関わりを家臣の視点から伝える資料。

徳川家康 と 豊臣政権

ゆかりの地
マップ

五か国を治める大大名 徳川家康の本拠地

徳川家康は天正10(1582)年に武田氏を滅ぼして駿河を支配下におき、同14年には浜松から駿府へと移りました。家康は豊臣秀吉の命を受けて江戸に移るまでの約4年間、駿府を本拠地としています。この間、家康は、金箔瓦を用いた駿府城を築くとともに、戦火で焼失した静岡浅間神社の造営や寺社への保護を行いました。このころ家康に嫁いだ旭姫(秀吉の妹)の墓所も駿府城近くの瑞龍寺にあります。同18年の小田原合戦では関東へ進軍する秀吉が途中駿河を通り清見寺にも滞在しました。合戦後、家康は江戸に移され、代わりに秀吉の家臣である中村一氏が駿河を治めました。

